

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 3 4	・地域社会の中における事業所の認知度が低い。 ・事業所の特性(立地・ハード面・認知症ケア等)を活かした地域貢献(地域社会に繋がった行事・研修等の実践、事業所設備の開放・人材の活用等)を通して、地域社会・住民との交流の機会をより密に持ちたい。	・当ホームの多目的ホールを地域住民の活動の場・地域交流の場として活用することで、地域社会へ貢献できる。 ・地域の行事やイベントに事業所として参加する。 ・事業所で開催する行事・研修等に地域住民の参加を招く。	・地域住民のサークル活動・ボランティア活動等に多目的ホールを活用できるようにする。 ・向日市から受託した認知症カフェ実施事業を円滑に行う。	12ヶ月
2	27	利用者の状態に応じてケアプランの見直しを行い、ケアプランのサービス項目・サービス内容の変更を行っているが、ケアプランに沿った実践の記録ができていない。	・ケース記録の書式を変更し、実践したケアがケアプランのどの項目・サービス内容に対応したものを記録できるようにする。 ・上記を通してケアプランへの意識が強く、ケアプランの周知に繋げる。	・ケース記録の書式の変更を行う。 ・ケアプランをケース記録の現行記録ページに綴じ、記録事に閲覧できるようにする。 ・スタッフが記録を通して利用者のケアプランの個別性を理解し、ケアプランを意識しながらサービスの提供が行えるようになる。	3～6ヶ月
3	21	庭の活用・事業所外への外出レクの機会は総じて増えたが、外食等のより個別性を重視した外出には至っていない。 利用者個々の嗜好や希望に応じた外出・レクリエーションの提供を増やしたい。	・個別・関係性や身体状況等に応じた小グループによる外出・外食レクを実施する。 ・利用者家族とともに出かける外出・レクリエーションの機会を増やす。	・個々の希望を聞き出し、個別・小グループでの外出・外食レクリエーションを企画・実行する。 ・家族と共に出かけることのできる外出・レクリエーションを企画、案内し実行する(お花見・紅葉狩り・初詣・外食等)。	12ヶ月
4	52	清掃には力を入れているが、建物・ハード面を更に活かせるよう、事業所内の環境整備を行い利用者・家族・外来者・スタッフにとって居心地がよく、落ち着く空間、動きやすい空間、働きやすい空間づくりが必要である。	・館内全体の清掃を計画的に行う。 ・不要物の処分・整頓を行うことで動きやすく居心地のよい空間を作ることができる。	・環境委員会と連携し、清掃と物品・空間の整理、環境整備を行う。	12ヶ月
5	34	・類似のヒヤリハット・インシデントが発生することがあり、スタッフ個々のリスクマネジメントに関する意識・認識・理解をより強くする必要がある。	・リスクマネジメントの重要性をスタッフ全員が共通理解できる。	・ヒヤリハットやインシデント発生時に即時のミニMTGを実施し、リスクと再発予防策について検討し、周知できるシステム作りをする。 ・リスクマネジメント委員会によるKYT活動等、全員で取り組むリスクマネジメント活動を開始する。	3～12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。